

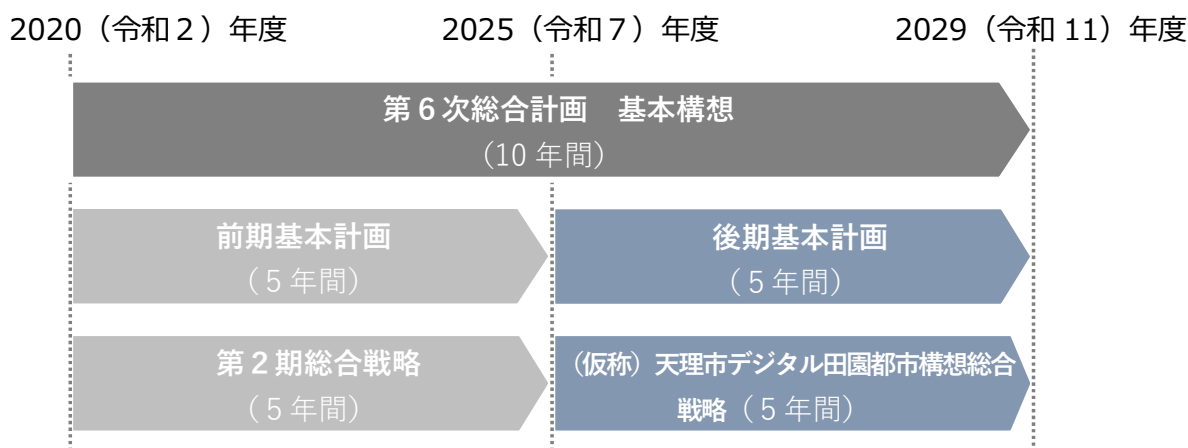
# 天理市第6次総合計画 (「後期基本計画」及び「(仮)天理市デジタル田園都市構想総合戦略」) 策定方針(案)

## 1. 策定の目的と位置づけ

令和2年度に策定した「天理市第6次総合計画」は、より実効性のある市政運営のため「第2期天理市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「第2期総合戦略」という)」と一体として策定しており、「基本構想」、「前期基本計画」、「第2期総合戦略」の3部構成となっている。

「基本構想」は、2020(令和2)年度から2029(令和11)年度までの10年間を計画期間としており、「大和青垣に囲まれた歴史と文化かおる共生都市・天理 ～創り、つながり、笑顔が広がる、多様な連携で共に支え合うまち～」を将来像とし、7つの「分野別方針」と5つの「計画推進にあたって重視する考え方」を位置付けている。

基本構想を実現するための施策を体系化し、総合的・計画的な行政運営の指針となる「前期基本計画」と、人口減少克服や地方創生に関する施策を示した「第2期総合戦略」は、2020(令和2)年度から2024(令和6)年度を計画期間としており、期間満了に伴い、2025(令和7)年度からの新たな「後期基本計画」と「(仮称)天理市デジタル田園都市構想総合戦略」の策定を行うものとする。



### 基本構想

- 将来像 大和青垣に囲まれた歴史と文化かおる共生都市・天理  
～創り、つながり、笑顔が広がる、多様な連携で共に支え合うまち～
- 分野別方針
  1. 誰もが地域で安心して健やかに暮らせる「福祉」の充実
  2. 地域の資源や人材を活用し、一人ひとりの豊かな未来を育む「教育」の充実
  3. 天理ならではの魅力を活かした「賑わい」の創造
  4. 活力あふれる「産業」の推進と安心して働ける場の創出
  5. 災害や社会変容に備えた「安全・安心」して暮らせるまちづくりの確立
  6. 都市基盤の整備と環境保全による快適で住みよい「都市環境」の確立
  7. 多様な連携・協働による持続可能な「行財政運営」の推進
- 計画推進にあたって重視する考え方
  - ・支え合いのまちづくりの推進
  - ・公民連携によるまちづくりの実現
  - ・政策間連携の推進
  - ・スマート自治体の推進
  - ・財政構造改革の実行

## 2. 後期基本計画、(仮)天理市デジタル田園都市構想総合戦略の策定の考え方

天理市第6次総合計画策定後、将来像の実現に向けて各種施策を展開してきているが、この間においても、人口減少・少子高齢化は加速化しており、新型コロナウイルスの世界的な大流行やロシアによるウクライナ侵攻、大規模災害の発生など、本市を取り巻く環境は目まぐるしく変化している。

そのため、社会経済情勢の変化を踏まえ、本市を取り巻く環境や課題を整理するとともに、前期基本計画等の評価や検証を行い、将来像の実現に向けた必要な見直しを図り、後期基本計画及び(仮)天理市デジタル田園都市構想総合戦略を策定するものとする。

計画策定のあたっての視点を以下に整理する。

### (1) 人口減少社会に適応したまちづくりの推進

本市の人口は、1995年をピークに減少に転じ、2023年12月には61,328人となっている。我が国全体での人口減少が進む中、都市間競争による人口維持ではなく、人口減少を受け入れ、市民、民間事業者、行政等がオール天理で“共に支え合うまち”づくりに取り組み、誰もが生き生きと活躍し、安心して豊かに暮らし続けられる共生都市を実現するための計画とする。

また、人口減少局面のまちづくりにおいて、限られた財源の下で住民ニーズを的確に捉えていく公共施設の再編を目指す。

### (2) 加速化し続ける少子化への対策

本市の合計特殊出生率(2022年)は1.18で国立社会保障・人口問題研究所の女性の人口再生産に関する主要指標において人口が静止するために必要な合計特殊出生率2.07に達していない。また、天理市では、高校や大学進学、就職時の転出が多く、若者の転出超過が続いている。

加速化し続ける少子化に対応するため、出生率の改善に効果的な施策を位置づけ、未来に希望を持てる共創のまちづくりを進める。

### (3) 多様化する社会課題への対応

目まぐるしく社会情勢が変化しており、世界的情勢も不安定化しているなど、予測が困難で、先が見えない時代に突入し、今後も想定が困難な事態が発生することも考えられる。潜在的な課題を早期に発見するとともに、行政、市民、事業者等の様々なステークホルダーが協力しながら、安心安全で住みよい天理市の実現を目指す。

### (4) SDGsの理念を踏まえた更なる取組の推進

前期基本計画における26政策、第2期天理市まち・ひと・しごと創生総合戦略の4分野では、SDGsとの関係性を整理している。

脱炭素化が国際社会で最重要課題のひとつとなるなか、本市では2021(令和3)年に「天理市ゼロカーボンシティ宣言」、2023(令和5)年には「天理市プラスチックごみゼロ宣言」を行うなど持続可能な環境保全のまちづくりも進めているところである。また、SDGs未来都市を目指した取り組みとの整合性も図りながら、持続可能なまちづくりを進める。

### (5) 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案した戦略の策定

国においては、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を活かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化することとしており、2022(令和4)年12月に第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定された。

本市においても、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国の総合戦略を勘案し、(仮)天理市デジタル田園都市構想総合戦略の策定を進める。

### 3. 策定のスケジュール

	2023（令和5）年度		2024（令和6）年度			
	9-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
① 人口分析及び人口ビジョンの修正	■	■				
② 市民意識調査の分析	■	■				
③ 前期基本計画及び第2期総合戦略の総括	■	■				
④ 後期基本計画、総合戦略(案)の策定			■	■	■	
⑤ R6 市民意識調査の実施・集計			■			
⑥ パブリックコメントの実施						■
⑦ 議会説明					■	■
⑧ 審議会・策定委員会の開催		策 審		策 審	策 審	策・審

### 4. 計画策定の体制

<策定の体制イメージ>

